

8: 骨髄異形成症候群(MDS)【成人】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 石山 謙	金沢大学附属病院	血液内科
石川 隆之	神戸市立医療センター中央市民病院	血液内科
岡本 真一郎	慶應義塾大学病院	血液内科
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
垣花 和彦	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
河野 彰夫	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	血液・腫瘍内科
高木 伸介	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
高見 昭良	愛知医科大学 内科学講座	血液内科
田中 正嗣	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
玉置 広哉	兵庫医科大学病院	血液内科
廣川 誠	秋田大学大学院医学系研究科	総合診療・検査診断学
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・血液内科
宮崎 泰司	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
芦田 隆司	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
臼杵 憲祐	NTT 東日本関東病院	血液内科
衛藤 徹也	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	血液内科
太田 秀一	札幌北榆病院	内科
大西 康	東北大学病院	血液免疫科
中尾 眞二	金沢大学医薬保健研究域医学系	細胞移植学
池田 宇次	静岡県立静岡がんセンター	血液・幹細胞移植科
石井 一慶	関西医科大学附属滝井病院	血液腫瘍内科
糸永 英弘	佐世保市立総合病院	血液内科
小林 寿美子	日本大学医学部内科学系血液膠原病内科学分野	血液膠原病内科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
青木 一成	京都大学大学院医学研究科	血液・腫瘍内科学
青木 淳	(独)神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	血液内科
康 秀男	大阪市立大学大学院医学研究科	血液腫瘍制御学
鈴木 達也	国立がん研究センター中央病院	血液腫瘍科
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所附属病院	造血細胞移植チーム
土岐 典子	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
宮尾 康太郎	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科
森下 喬允	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座	血液腫瘍内科
吉永 健太郎	東京女子医科大学病院	血液内科
杉盛 千春	石川県立中央病院	血液内科
立花 崇孝	横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・感染症内科

米澤 昭仁	小倉記念病院	血液内科
竹田 淳恵	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
木田 理子	NTT 東日本関東病院	血液内科
芹澤 憲太郎	近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科
水牧 裕希	金沢大学附属病院	血液内科

2. 承認研究の進捗状況(2015年1月-12月 ※JSHCT2016を含む)

8-1	「同種造血幹細胞移植が行われた50歳以上のMDS患者における移植成績の検討」 PI:青木一成	
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:済(WG研究業績一覧参照)		
8-3	「成人MDSに対する臍帯血移植」 PI:石山謙	
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:		
8-4	「慢性骨髄単球性白血病に対する同種造血幹細胞移植の有効性の検討」 PI:糸永英弘	
学会発表:済(WG研究業績一覧参照) 論文業績:Hidehiro Itonaga, Masako Iwanaga, Kazunari Aoki, Jun Aoki, Ken Ishiyama, Takayuki Ishikawa, Toru Sakura, Takahiro Fukuda, Yuho Najima, Toshiaki Yujiri, Takehiko Mori, Mineo Kurokawa, Yuichiro Nawa, Naoyuki Uchida, Yoshihisa Morishita, Hisako Hashimoto, Tetsuya Eto, Makoto Hirokawa, Yasuo Morishima, Tokiko Nagamura-Inoue, Yoshiko Atsuta, Yasushi Miyazaki. Impacts of graft-versus-host disease on outcomes after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for chronic myelomonocytic leukemia: A nationwide retrospective study. Leukemia Res. 2016;41:48-55.		
8-5	「低リスク骨髄異形成症候群に対する造血幹細胞移植」 PI:青木淳	
学会発表: 論文業績:		
8-6	「治療関連骨髄性腫瘍(therapy-related myeloid neoplasms;therapy-related AML/MDS)の移植成績」 PI:木田理子	
学会発表:Michiko Kida et al. Outcome and Risk factors for Therapy-related Myeloid Neoplasms Treated with Allogeneic Stem Cell Transplantation. The 57 th ASH Annual Meeting and Exposition, Orange County Convention Center, Orlando. (December 5-8, 2015). Michiko Kida et al. 本邦における治療関連骨髄性腫瘍に対する造血細胞移植成績。第38回日本造血細胞移植学会総会、名古屋国際会議場、2016年3月3日-5日。 論文業績:		
8-7	「der(1;7)(q10;p10)染色体異常が骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植の成績に与える影響の検討」 PI:糸永英弘	
学会発表:Hidehiro Itonaga, et al. 57th ASH Annual Meeting. (December 5-8, 2015), Orland, Florida. 論文業績:		
8-8	「骨髄異形成症候群に対する同種移植におけるドナータイプと予後の関連」 PI:青木一成	
学会発表:青木一成 他 第77回日本血液学会学術集会(平成27年10月16日-18日)、石川県立音楽堂 論文業績:		

8-9	「成人骨髄異形成症候群に対する臍帯血移植における移植前処置別の成績：G-CSF 併用前処置の安全性および有効性の検証」 PI:小沼貴晶
<p>学会発表：</p> <p>論文業績：Konuma T, Takahashi S, Uchida N, Kuwatsuka Y, Yamasaki S, Aoki J, Onishi Y, Aotsuka N, Ohashi K, Mori T, Masuko M, Nakamae H, Miyamura K, Kato K, Atsuta Y, Kato S, Asano S, Takami A, Miyazaki Y; Adult Myelodysplastic Syndrome and Adult Acute Myeloid Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Effect of Granulocyte Colony-Stimulating Factor-Combined Conditioning in Cord Blood Transplantation for Myelodysplastic Syndrome and Secondary Acute Myeloid Leukemia: A Retrospective Study in Japan. <i>Biol Blood Marrow Transplant.</i> 2015;21(9):1632-40.</p>	
8-10	「同種移植後生着不全に影響を及ぼす因子の解析」 PI:石山謙
<p>学会発表：</p> <p>論文業績：</p>	
8-11	「慢性骨髄単球性白血病に対する同種造血幹細胞移植におけるドナー・ソースの影響の検討」 PI:糸永英弘
<p>学会発表：糸永英弘、他。第 77 回日本血液学会学術集会(平成 27 年 10 月 16 日-18 日)、石川県立音楽堂。</p> <p>論文業績：</p>	
8-12	「trisomy8 を有する骨髄異形成症候群の同種造血細胞移植における予後因子解析」 PI:小沼貴晶
<p>学会発表：</p> <p>論文業績：</p>	

3. 会議開催記録(2015 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2015/3/6	神戸国際会議場 3 階 会議室 302	WG 活動について、プロジェクトの進捗状況、新規プロジェクトの提案等。

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2015 年 12 月末時点まで)

(374)回

※当 WG 活動の一つとして行っている染色体分類の議論で、メーリングリストを介さない WG 委員 6 名間のメールやりとりが別に約 120 回あり

5. WG の今後の活動方針・抱負など

新規研究の開始をメンバーにお願いするとともに、これまでに申請されている研究の論文文化を積極的にすすめていきたいと思います。

また、当 WG ではメンバーによる染色体分類を 3 年前から行い、その結果を希望する WG メンバーに配布し活用していただいております。手間はかかりますが非常に有意義な仕事ですので、今後も続けていけたらと思います。